

提案力と解決力で信頼を集める ねじ・ボルトのスペシャリスト

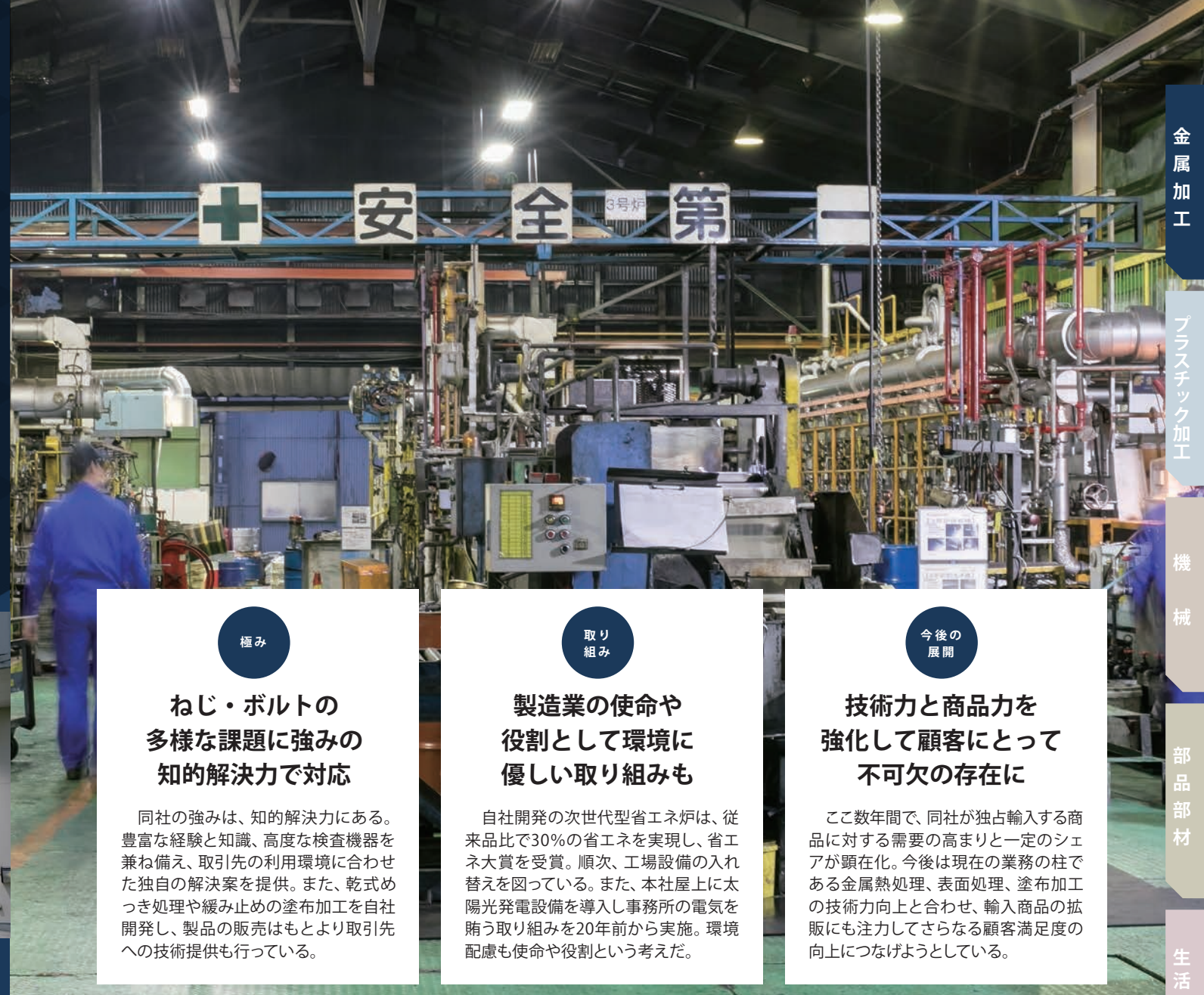
昭和43年（1968）、現会長の田中要氏が個人経営の熱処理工場を創業し、自動車部品用ねじや建築材料用ボルトの製造など幅広く業務を展開。現在では、田中熱工をはじめ6社がエマナックグループとして相互に連携し合う、総合エンジニアリング企業へと成長を果たしている。

グループの主事業は、ねじやボルトの金属熱処理、表面処理、塗布加工。多様なニーズに応える技術力と商品の自社開発を含む提案力と解決力で、幅広い取引先から信頼を得る。

住 所 | 〒570-0043 大阪府守口市南寺方東通4-24-8
TEL | 06-6993-0101 FAX | 06-6991-0010
創 業 | 昭和43年11月 設 立 | 昭和48年5月
資本金 | 3,500万円 従業員 | 280名
H P | <https://emanak.co.jp/>

■主な事業内容
ねじ・ボルトの熱処理・表面処理・塗布加工

■主な取引先（納品先）
自動車部品メーカー・建材メーカーなど



極み

ねじ・ボルトの 多様な課題に強みの 知的解決力で対応

同社の強みは、知的解決力にある。豊富な経験と知識、高度な検査機器を兼ね備え、取引先の利用環境に合わせた独自の解決案を提供。また、乾式めっき処理や緩み止めの塗布加工を自社開発し、製品の販売はもとより取引先への技術提供も行っている。

取り組み

製造業の使命や 役割として環境に 優しい取り組みも

自社開発の次世代型省エネ炉は、従来品比で30%の省エネを実現し、省エネ大賞を受賞。順次、工場設備の入れ替えを図っている。また、本社屋上に太陽光発電設備を導入し事務所の電気を賄う取り組みを20年前から実施。環境配慮も使命や役割という考えだ。

今後の展開

技術力と商品力を 強化して顧客にとって 不可欠の存在に

ここ数年間で、同社が独占輸入する商品に対する需要の高まりと一定のシェアが顕在化。今後は現在の業務の柱である金属熱処理、表面処理、塗布加工の技術力向上と合わせ、輸入商品の拡販にも注力してさらなる顧客満足度の向上につなげようとしている。

WEBサイト



エマナックグループ



代表取締役

田中 良典さん

お客様の「心の音」を聞き、 多様なサービスを提供し続ける

当社では、「心の音」を大切にしています。これは、社是として掲げている「意」を上下に分けて表したものです。お客様にご満足いただくためには、「心の音」にしっかりと耳を傾け真摯に向き合う姿勢が、最も大切であると考えています。

また、社内における「心の音」も同様です。社員それぞれがお客様からお預かりした「心の音」を、より解りやすく、より迅速に共通の「意」として的確なご提案につなげていく。社員全員が、関わる全ての人の「心の音」を感じられる存在となり、多様なニーズにお応えできるよう努めています。



安心の納品体制



連続炉による金属熱処理



定期的なメンテナンスの実施

ポイント

福利厚生・働く魅力 職場環境

業界では画期的な
制度と取り組みで
働き方を改善



働き方を改善する目的で、業界でも珍しい工場の年間休日120日と完全週休2日を試験的に導入。機械を止めると製造面に影響を及ぼす懸念もあったが、省エネ炉の導入による製造効率向上で、懸念材料がなくなった。また、全員が同じ日に休むことで3交代制のシフトが詰まり、従業員同士が顔を合わせる機会も増えコミュニケーションが活発になるという、想定外の効果も出ている。

資格取得に対する手厚い支援制度も長きにわたって実施しており、60種類以上の資格が手当ての給付対象だ。他にも社長から従業員へ年末ギフトを贈るなど、従業員のモチベーションアップへの施策も含め働き方改善を推進している。